

石川の印刷

IPIA

ISHIKAWA PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION

CONTENTS

平成30年 年頭挨拶(吉田理事長)
石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会
平成29年度 先進企業の視察研修
第8回 ポスターグランプリ
オフセット印刷技能検定の結果
DTP 技能検定試験
2017 全印工連フォーラム
第26回印刷の月ゴルフ大会
環境・労務セミナー「職場の健康確保と対策」
理事会報告 第2回理事会 / 第3回理事会 / 第4回理事会
平成29年度 全青協中部ブロック協議会
全国印刷緑友会「60周年大会」
印刷関連企業情報
第21回 ソフトボール大会
共済受賞
会員短信 / 今後の予定

発行

石川県印刷工業組合

石川県金沢市玉鉾4丁目160
TEL.076-291-0557
<http://www.ishikawa-pia.jp/>
平成30年(2018年)3月20日発行

NO.

295



平成30年 年頭挨拶

石川県印刷関連団体協議会 会長
(石川県印刷工業組合 理事長)
吉田 克也

新年おめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新年を迎え
られましたことと、心よりお慶び申し上げます。

「戌年」は「商売繁盛の酉年」と比較し「守りの
年」と言われていることにちなんだ訳ではありませんが、「守る」をキーワ
ードに所感を述べさせていただきます。

さて、私のような1960年代生まれのものにとって、少年ジャンプは憧れ
の漫画雑誌であり、毎週の発売日を楽しみに待っていたものでした。その少
年ジャンプは1990年代に600万部を超える発行部数を誇っていましたが、
昨年は200万部を割り込んでしまいました。もちろん、漫画雑誌だけが印刷
物ではありませんが、私たち印刷業者にとって非常に厳しい現実です。東京
や大阪の電車に乗っても、新聞や雑誌を読んでいる人は珍しくなりました。

こうした状況でも、印刷業が必要とされる産業であり続けるためには、紙
とインクと印刷機を用いて印刷物を大量に製造するという印刷業のビジネ
スマデルに媒体を問わずコンテンツを創造するというビジネスモデルを付
け足すことが必要です。その第一歩は、自らの活動が知的財産権の源泉であ
るコンテンツを生み出していることを再確認し、その価値を守ることだと考
えています。

しかしながら、官公庁を始めとして印刷物の発注に際し、中間生成物かつ
知的財産権の固まりである組版データの無償提供を求められる事例が散見
され、発注条件だから仕方ないと受け入れている現状があります。しかし、
それでは印刷業者自らが組版データという知的財産権を多く含んでいるコ
ンテンツの価値を貶めることにつながりかねません。

そこで、全日本印刷工業組合連合会は、印刷会社の知的財産を守るため活
動を続けてまいりましたが、昨年、中小企業庁が定める調達方針「平成29年
度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」において、「知的財産権の財
産的価値について十分に留意した契約内容とするように努めるものとする」
との記述を加えてもらうことが実現しました。つまり、「無償で組版データ
の提供を求めることは好ましくない」というお墨付きをいただいたものと解
釈することができます。このことは、印刷工業組合に加盟する組合員企業全
社が力を結集したことで実現できたのです。もちろん、実効性を担保するた
めには、個別契約における私どもの姿勢が問われることも忘れてはなりません。

財産と言えば、その業界に対しての世間の評価やイメージという無形の
財産があります。石川県の印刷産業は、工業出荷額において県内の主要産業
の地位を誇っております。また、出荷額のみならず、工業組合を組織し、業

界の健全化に取り組んでいることが業界全体の評判に良い影響を与えてい
ると固く信じております。

その工業組合の活動拠点である石川県印刷会館ですが、老朽化という深
刻な問題に直面しています。印刷会館が無くとも工業組合の運営はできる
という意見もあり、決して間違いではありません。しかし、本当にそれで良
いのでしょうか？印刷産業が変革の時期を迎えたからこそ、業界人が気軽
に集う場所、業界のシンボルとしての価値が益々高まるものと確信してい
ます。ここに集まった皆さんを始めとする印刷関連業界全ての方の力を結
集し、印刷会館を守って行きたいと考えています。

昨年、DTPオペレーター技術向上の一助とすべく「DTP検定」を実施す
ると皆様にお伝えしました。おかげ様で、4名の1級合格者を輩出するこ
とができ、石川県のレベルの高さを証明することができたとともに、今年の石
川県内での実施に向けての基盤づくりができました。私が社長を務めるヨ
シダ印刷でも1名の合格者を輩出することができましたが、そのことが周囲
に良い影響を与え、「自分も挑戦したい」と申し出る者が出てきました。

このように、DTPオペレーターに対して目に見える目標を提供できたこ
とを大変嬉しく思います。そして、従来から実施しているオフセット印刷技
能検定と併せ、プロにしか出来ない仕事ができる技術者を数多く育て、「プ
ロの領域」としての印刷産業を守って行きたいと考えています。

JAGAT(日本印刷技術協会)50周年記念誌に次のような一文があり
ました。

『産業界全体のデジタル化が深化する次世代に向けて、1社だけではでき
ないことを同業他社に頼るのではなく、業界の垣根を越えたアライアンス
こそが今後の課題になるだろう。』

つまり、印刷産業内の協業では不十分で、他業種との協業が必要だとい
うことです。これまで、同業他社や関連業者との協業によって発展してきた印
刷産業には受け入れがたい提言かもしれませんが、AIやIoTなどが話題
になる現状では耳をふさぐことはできません。もしかすると、印刷産業がしっ
かりしていなければ、他の産業から協業相手として期待されることはないか
もしれません。

「デジタル化が深化する次世代」であっても、従来のように他の産業から
尊重され期待される業界としての地位を守るためには、本日はもとより、今
後も様々な機会を通して、石川県の印刷産業に属する全ての皆さんがお互
いを高め合うことが必要であると確信しており、本日の新年互礼会が、その
一助となれば嬉しく思います。

平成30年度の躍進を願って、石川県印刷関連団体協議会「新年互礼会」開催

石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会

来賓、会員（石川県内8団体81社などから）総数177名が参加して、新春を祝う



今年の新年互礼会は、会場を3年ぶりにホテル日航金沢で開催することになった。例年の通り、小杉善文専務理事の司会で開会の辞が述べられ、出席者全員による国歌斉唱が行われた。主催者を代表して吉田克也会長が年頭の挨拶を述べた。（表紙に記載）

来賓の祝辞では、谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長、中島秀雄金沢商工会議所副会頭から安宅会頭の祝辞の代読などの祝辞をいただいた。

はじめに、谷本知事は、「本年も印刷業界の新年会にお招きをいただき、厚く御礼を申し上げます。

吉田会長の挨拶にもあるが、印刷業界も様々な課題があるという事を理解した。以前、印刷業界も各工程が細分化されており、繊維業界に似たところがあると聞いた。繊維には、糸を紡ぐ段階から、撚る、染める、織る、縫う、付加価値を付ける段階とジャンルごとにそれぞれ業者がいて、相互に連携を取りながら生産を行っている。そして、今、一番危機に瀕していると言われているのは、撚りの部分である。撚糸業では、短納期、多品種に対応できずに廃業をする傾向が出ている。大手の会社は、撚りの部分を内製化して取り組めるが、それができない所では致命的となり繊維業界では大きな問題となっている。印刷業界の場合も色々な課題がある中で、業種の垣根を越えて相互

に連携を取り、業界として様々なニーズの変化に対応できる取り組みを進めて欲しいと考える。先程、コンテンツへの取り組みという話題があったが、今から20年ほど前、石川県より印刷業界に「何が必要か？」という問いかけに対し、印刷だけではなくコンテンツ事業の分野へも参入したいとの要望があった。そこで、石川県はかつて「加賀



日時：平成30年1月6日（土）午後5時開宴

場所：ホテル日航金沢4階 鶴の間

は天下の書府なり」とのことから、商工労働部が中心となって、「石川新情報書府」創造事業を実施した。これには様々な業界にも参加をもらい、互いに「小異を捨て大同につく」取り組みを行った。その後、この事業は、各方面から多くの要望があり、当初4～5年計画であったものが平成27年度まで継続した事業となった。今後とも、時代の変化に即応する印刷業界であることを願っている。

ところで、石川県全体の景況感、経済団体トップの意見でも「総じて今年は極めて視界良好」という言葉に集約される。一方で必ず出る言葉は、人手不足との声が聞こえてくる。そこで、視界良好をどのように持続し、人手不足をどう克服して行くかが、今年の大きなテーマとなってくる。

視界良好の理由の一つには、北陸新幹線の金沢開業効果が3年たった今も持続していることや、石川県、金沢の露出度が飛躍的に高いことも功を奏していると考えている。テレビでの全国放送で石川県や金沢を取り上げる番組の多さにも表れている。開業前の平成26年は52本だったものが、開業の年の平成27年は313本、平成28年は251本、平成29年11月末までに271本放映されている。これは石川県、金沢には、取り上げる素材が沢山あるということを示しており、まだ、我々の気が付かない素材があるということである。そこで、もう一度そのような素材を掘り起こして、更に磨きをかけ、発信をして行くことが大事と思う。それが、今、求められているテーマのひとつと考える。そして、このことを実行して行くことが、新幹線の開業効果の持続に繋がると考えている。

印刷業界では、石川県の観光情報等も含め、様々な情報発信に協力並びに尽力をいただいていることに感謝している。これからも、開業効果の持続において、印刷業界の貢献と役割が重要となってくるものと考えている。5年後には、敦賀開業も決定しており、第2の開業効果を生み出して行く必要がある。その為には、金沢の開業効果を検証して、それを敦賀開業に活かさなければならない。更に、3年後に開かれるビックイベントである東京オリンピックは、海外誘客の絶好のチャンスとなる。その意味で今年は、国内外のお客様に如何にこの石川県、金沢に関心をもってもらうのかを行政と印刷業界が連携をして、どのような情報発信をしたらよいかを互いに考えて実行する大事な一年となる。これからも印刷業界の方々には、更なるお力添えをお願いしたい。」と述べ、最後に、3月に行われる知事選に立候補する意思を表明して知事の祝辞を終えた。

つづいて、山野市長は、「明けましておめでとうございます。

本年も、石川県印刷関連団体協議会の新年互礼会にお招きいただき心より感謝申し上げます。

始めに吉田会長の挨拶で「少年ジャンプ」の話があったので、日経MJ（旧日経流通新聞）12月号に特集掲載された週刊「少年ジャンプ」について、マーケティングの視点から述べたい。特に印象に残ったのは、編集長のインタビュー記事で、「少年マガジンや少年サンデーは、以前ほどライバル視をしなくなった。ライバルは、別のところにいる。今は、仲間として出版業界を盛り上げて行こうという思いである。」と語った。私は、「まちづくり」も全く同じであると思



りに取り組んで行かなければならないことは、4市2町で取り組んで行く協約を平成27年3月に調印をした。現在、具体的に複数の施策に取り組んでいる。私は、金沢の市長であるが「まちづくり」は、オール石川、オール百万石、オール北陸の視点で取り組んで行かなければならないと考えており、既に様々な施策を進めている。これは、印刷業界のビジネスに於いても恐らく同じと考える。それぞれの会社は、ライバルかもしれないが、一緒に盛り上げて行くときは、仲間として連携して行くことが大切である。

吉田会長からは、IoT、AIの話も出たが、現在、第4次産業革命とも言われている。新幹線等々で景気が上向きといわれているこの時だからこそ、次の手を打たなければならないと考える。そこで、今年度中に、金沢市は新たな産業ビジョンを作りたいと思ひ、もとより行政だけでなく、民間が中心になり大学の関係者も入って、検討会を作る予定である。また、第4次産業革命も念頭に置きながら行政として、

民の皆さんとこの先を見据えて、どんな環境を作って行くことが望ましいのか、これからの産業ビジョンというものをどのように取り組んで行かなければならないかを今年度内に検討会を立ち上げ、平成30年以内にその方向性を民や学の皆様の意見を聞きながら進めたい。また、そのビジョンでは、半歩先を見据える施策を作りたいと考えている。かつて、加賀藩五代藩主前田綱紀公が「百工比照」を残したが、今、改めて見た時、あの時代の半歩先を見据えた文化的な施策であったと考えている。そのような思いで、皆様と「まちづくり」を進めたいと願っている。恐らくその中に、印刷関連の皆さんがこれから進むべき方向性の一端などが表れてくれれば、うれしい話である。多くの皆さまの力をお借りして、もっと元気な金沢、元気な石川県を作りたいために精一杯努力をさせていただく。」と市長の祝



辞を結んだ。

そして、中島副会頭は、安宅建樹金沢商工会議所会頭の祝辞（次頁に記載）を代読いただき、合せて次のお言葉もいただいた。「先程、吉田会長や山野市長より、AI、IoTの話題を話されたが、「人間は、その内にコンピュータにとって代わられる時代がやってくるのでは？」という漠然とした不安感がないわけでもない。しかし、今朝のテレビの番組で、人間にとって代わるようなAIやロボットは、進化はしても今世紀中に出来上がらないし、まだ人間に追いついていかないという内容を放送していた。IoTやビックデータと言われるものは、結果的に膨大なデータ量を解析するスピードが非常に上がっただけの事であって、出てきたデータをどのように利用するかという点は、人間の知恵だろうと思っている。そこで、AIやIoTなどIT技術を駆使した利用の中から、次にどのような商品づくりをして行くのかが問われていると考えている。従来のように単にものをつくるのではなく、それにどのようなサービスを加えて、新たな商品を世に提供して行くべきかを考える中で、ITと産業との融合が目指されると考えている。

ところで、今年届いた年賀状に、ある弁護士の方より「三十数年ぶりに万年筆を新調しました。書いた文字のインクが紙にしみこんで行く様は、何ともいい感じでした。」という言葉があり、紙屋にとってうれしい言葉をいただいた。極めてファジーな表現であるが、その言葉の中に、人間の感性や紙とインクの親和性など、感覚的なものに象徴されているものがあると思う。そのような意味では、我々が持っている感性を絡めて、どのようなネットワークを作り、また、活かし合いながら、新しい価値や新しい商品を創造して行くかが、これからのコラボレーションないし協同が進むべき意味と考えている。幸いこの石川県印刷関連団体協議会は、それぞれの職種で大きな

ネットワークをもっており、それらをどのように旨く絡み合わせて行くかが、これからの新しい仕事を創造する一つの基盤になってくると思っている。そのような意味で、この業界での活動というのは、是非とも、もっと活発になっていただきたいと思っている。今年も、関連団体協議会の皆様それぞれのネッ

トワークを広げて行くことで新しいチャンスやチャレンジの場を広げて行く方向で、皆様と頑張りたいと思ひ、今年もまた一年間をよろしく願ひたい。」と来賓の祝辞を終えた。

その後、来賓、協議会元役員及び現役員、会員代表、22名による恒例の「鏡開き」が賑々しく行われた。乾杯の音頭は、本年も福島理夫元会長が行い、乾杯に先立つ挨拶では「今年は選挙の年といえる。3月は県知事選があり、11月には金沢市長選が予定されている。私の記憶では、かつて県民を2分した激しい



知事選を思い起こすと、やはり論戦であった。また、金沢市長選も山出前市長に立ち向かった山野現市長の時も論争であったことを思いだす。私は、今、谷本知事と山野市長のおふたりの能力と人気を上回る候補はいないと考えている。谷本知事は、石川県を日本海側のトップランナーであるという表現をしている。また、山野市長は、「文化都市、金沢」のイメージに加えて、新しい概念として「スポーツ文化」という表現も昨年よりされている。ぜひ、新しい石川県、新しい金沢市が、益々この印刷関連団体と共に隆成になること願って」と挨拶をして乾杯を行った。

祝電の披露では、全日本印刷工業組合連合会 会長 臼田真人氏の電文披露の他13社の社名・代表者名の紹介も行われた。今年は、例年にも増して活気のある新年互礼会となったが、中締め挨拶を岩上伸人協議会常務理事により行われ、定刻通りの終宴となった。 (報告:事務局 西川幸洋)

一金沢商工会議所 会頭 安宅建樹 様からの祝辞(全文)

新年明けましておめでとうございます。本日ご参集の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。さて、当地の景気は、雇用環境の改善などにより、緩やかな回復基調が続いていることに加え、北陸新幹線開業効果も未だ

健在で、観光・サービス関連産業を中心に大きな経済効果もたらせられております。このことは、印刷業界の皆様方にとっても追い風となったことと思います。その勢いを様々な業種に波及させることにより、さらに業界へ第二の風を呼び起こさせることにつながるのではないのでしょうか。

ただ、印刷業界では、少子高齢化の進展や人手不足などに伴う国内市場の縮小・消費者行動の変化などが大きなテーマとなっております。そういった中で、石川県の平成二十六年工業統計調査によりますと、製造品出荷額でかつてベスト10入りしていましたが、それを堺に減少傾向にあります。そういった厳しい状況ではありますが、「ピンチをチャンスに」を合言葉として、業界が十八番(オハコ)としている技術、つまり白い紙に明るく未来を描くという信念をもってすればベスト10入りも不可能ではないと思います。

私ども商工会議所と致しましては、微力ではございますが、印刷業界の発展はもとより、中小企業の経営支援と活力強化、地域経済の振興発展に向けて積極的かつスピード感をもって取り組んで参る所存でありますので、引き続き、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

新年を迎え、本日お集まりの皆様方におかれましては、いよいよご健勝にてご活躍されますよう心からお祈り申し上げ、甚だ簡単ではございますが、年頭の挨拶と致します。

◎平成30年 石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会 ご祝電をいただいた団体・企業名

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 全日本印刷工業組合連合会 | ダイヤミック株式会社 |
| F F G S グラフィックサプライ株式会社 | D I C グラフィックス株式会社 |
| コダック合同会社 | 東洋インキ株式会社 |
| コニカミノルタ ジャパン株式会社 | 株式会社スクリーンホールディングス |
| 株式会社小森コーポレーション | 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 |
| サカティンクス株式会社 | 株式会社メディアテクノロジージャパン |
| 株式会社桜井グラフィックシステムズ | リョービMH I グラフィックテクノロジー株式会社 |

平成29年度「先進企業の視察研修」

日 程:平成29年10月24日(火) 午後2時 現地(集合・出発)

集合場所:埼京線 戸田公園駅 西口より、専用車両で移動

視 察 先:10月24日(株)ウエマツ戸田工場

(埼玉県戸田市笹目8-12-2)

<http://www.uematsu-p.com>

参 加 者:20名、懇親会10名



第8回 ポスターグランプリ
テーマ [with]

主 催:愛知県印刷工業組合、岐阜県印刷工業組合、三重県印刷工業組合、石川県印刷工業組合、富山県印刷工業組合、愛知県印刷協同組合

日 程:応募期間 平成29年8月21日(月)~9月5日(火) 正午必着
審査日 平成29年9月29日(金)
入賞・入選発表 平成29年10月10日(火)

展示日時 平成29年11月14日(火)~19日(日) 午前10時~午後6時
愛知県美術館ギャラリー展示室E・F(愛知芸術文化センター8階)
表彰式 平成29年11月19日(日) 午前10時30分~11時30分
愛知県芸術文化センター12階アートスペースA

●審査結果(石川県に關する賞のみ)敬称略

■優秀賞

- | | |
|--------|-------------------|
| 岐阜県知事賞 | 伊野 祥子 |
| | (ワイピービズインブルー株式会社) |
| 石川県知事賞 | 山中 信也 |
| | (専門学校日本デザイナー芸術学院) |

■特別賞

- | | |
|---------------|----------|
| 石川県印刷工業組合理事長賞 | 笠置 萌絵 |
| | (金沢学院大学) |

■協賛会社賞

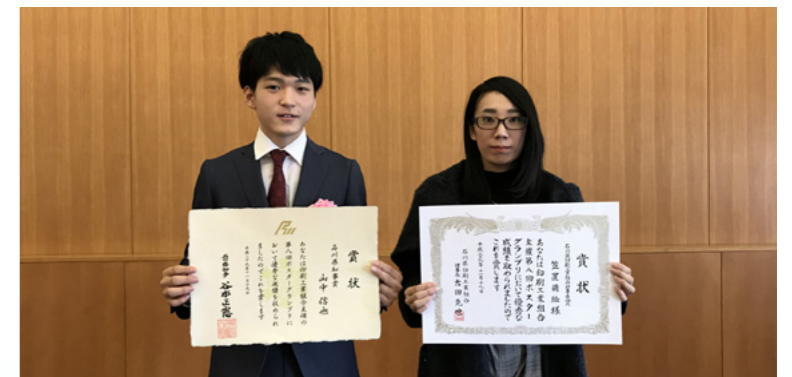
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 株式会社小森コーポレーション賞 | 高崎 青海 |
| | (大原情報デザインアート専門学校金沢校) |
| 株式会社メディアテクノロジージャパン賞 | 野村 奈美 |
| | (ヨシダ印刷株式会社) |
| 株式会社モリサワ賞 | 小松崎 成 |
| | (金沢学院大学) |
| 富士ゼロックス株式会社賞 | 宮下 優花 |
| | (金沢学院大学) |
| 王子製紙株式会社賞 | 坂本 峻 |
| | (金沢学院大学) |
| 北越紀州製紙株式会社賞 | 能登 由佳 |
| | (金沢学院大学) |
| 株式会社トコロ賞 | 定者 星香 |
| | (金城大学短期大学部) |
| 石川県洋紙会賞 | 粟本 彩花 |
| | (サンデザイン専門学校 高等課程) |

■入 選

- | | |
|--------|----------------------|
| 笹原 ひなの | (金沢学院大学) |
| 古永 久美子 | (金城大学短期大学部) |
| 竹田 理紗 | (北陸デザイナー専門学校) |
| 中村 亜莉子 | (大原情報デザインアート専門学校金沢校) |
| 成田 結理 | (大原情報デザインアート専門学校金沢校) |
| 石田 詩織 | (大原情報デザインアート専門学校金沢校) |
| 中山 裕花 | (金沢学院大学) |
| 川本 あや乃 | (ヨシダ印刷株式会社) |
| 有松 美琴 | (ワイピービズインブルー株式会社) |

石川県からの応募状況(5県の応募数:333名の内)

金沢学院大学、金城大学短期大学部、大原情報デザインアート専門学校金沢校北陸デザイナー専門学校、ヨシダ印刷(株)、ワイピービズインブルー(株)
以上、大学、短期大学2校、専門学校2校、一般2社
計55名が応募

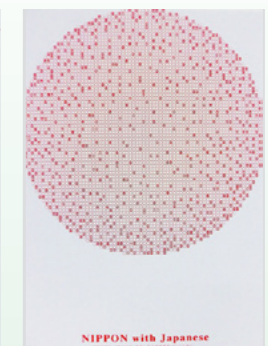


石川県知事賞 山中信也さん
石川県印刷工業組合理事長賞 笠置萌絵さん

優秀賞



岐阜県知事賞 伊野祥子さん



石川県知事賞 山中信也さん

特別賞



石川県印刷工業組合理事長賞 笠置萌絵さん



ポスターグランプリの事業が、日本印刷産業連合会より平成29年度日産連表彰特別賞を受賞しました。

【国家検定】オフセット印刷技能検定の結果

【平成29年度【前期】技能検定 印刷職種 オフセット印刷作業】

結果発表：平成29年9月29日（金）石川県商工労働部労働企画課より ◎1級合格者9名 ◎2級合格者6名

【国家検定】DTP技能検定試験

今年度より、実技試験を石川県で実施!!

■「DTP技能研修会」開催

日時：平成29年12月15日（金）午後1時30分～5時まで
 場所：石川県印刷会館 2階 会議室
 講師：全日本印刷工業組合連合会 特別顧問 相馬謙一氏
 内容：(1) 一般印刷知識、DTPの基礎知識、トラブルの原因とその対策、
 (2) 過去のテスト、模擬テスト問題（100問）の解説
 参加者：3社7名



■DTP技能検定 実技試験を県内2か所で実施

（平成29年度技能検定【後期】製版職種DTP作業 実技試験）

日時：平成30年1月14日（日）午前9時30分～15時まで
 場所：(株)山越、ヨシダ印刷(株) 各特設会場
 受検者：1級8名、2級1名

■学科試験

日時：平成30年2月4日（日）午前
 場所：石川県地場産業振興センター本館

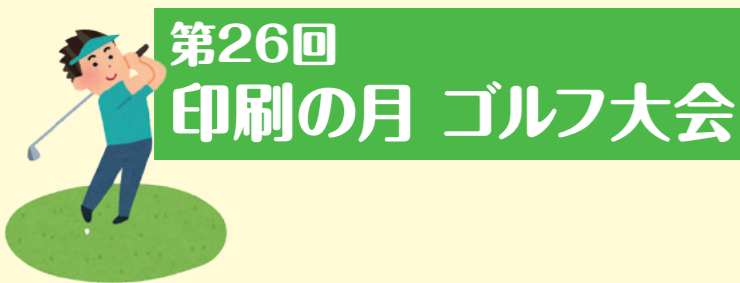
■合格発表

日時：3月16日（金）
 場所：石川県商工労働部企画課
 ※合格発表の連絡は、発表当日に組合事務局から各受検者の会社に連絡をいたします。

2017 全印工連フォーラム

日時：平成29年10月6日（金）13時～
 場所：熱海後楽園ホテル（静岡県）

全国の47都道府県印刷工業組合及び全印工連の関係者など300名が、熱海後楽園ホテルに結集した。会議は、全印工連理事会、各委員会（産業戦略デザイン室、経営革新・マーケティング、環境・労務、組織共済、教育研修、CSR推進）、全青協各県代表者会議、が行われた後、全体会議及び懇親会が盛大に行われた。翌日は、大熱海国際ゴルフクラブでゴルフコンペも開催され、38名の参加があった。石川県工組からは、吉田理事長、出村副理事長、今川理事の3名が参加した。



日時：平成29年9月2日（土）スタート7時35分
 場所：能登カントリークラブ
 （日本海コース、はまなすコース）
 主催：石川県印刷関連団体協議会
 参加者：9組33名

上位成績

優勝	水野清彦氏	(株)ヨシダ洋紙	Net71.8
準優勝	永澤克司氏	富士ゼロックス北陸(株)	Net73.2
3位	金野伴幸氏	(株)小森コーポレーション	Net73.8
4位	竹内照生氏	(株)中島商店	Net73.8
5位	橋本修一氏	(株)橋本清文堂	Net74.4



「職場の健康確保と対策」セミナー開催



日時：平成29年10月19日（木）14：00～15：30
 場所：金沢市異業種研修会館 2階 研修室
 内容：「経営者が引っ張る、職場の健康確保とその対策」
 講師：竹口彰夫氏 石川産業保健総合支援センター 労働衛生専門職
 共催：石川産業保健総合支援センター
 参加者：21名

今の日本の社会では、働き手が不足し、かつ、高齢化する中で会社経営者や人事労務担当者は職場の健康上の課題をどのように把握し、対処していけば良いのかが大きな課題であり、経営者や従業員共々、永く働かざるを得ない時代を迎えている。働く人の高齢化が進む中で、在職中の疾病の発症を抑制し、心身共に健康で働き、かつ労働生産性の低下の抑制に繋げるための手立てを考える機会となった。

なお、講演後の参加者アンケートから、モデルケースとして、ある組合員企業内で具体的な対策を講ずる試みを始めた。



◆◆ 理事会報告 ◆◆

第2回 理事会

日時：平成29年8月28日（月）14時～
 場所：石川県印刷会館
 参加者：本人出席22名、委任状出席9名、欠席0名
 議題：報告事項 1、官公需における「中小企業者の国等の契約の基本方針」について
 2、各委員会報告
 3、支部報告
 4、石川県印刷関連団体協議会 平成29年総会・セミナーについて
 5、石川県印刷関連団体協議会 印刷の月ゴルフ大会

第3回 理事会

日時：平成29年10月30日（月）14時～
 場所：石川県印刷会館
 参加者：本人出席19名、委任状出席11名、欠席1名
 議題：承認事項 1、「理事長候補者推選委員会」の設立と内規に追記の件
 報告事項 1、全印工連フォーラム2017の報告
 2、各委員会報告
 3、支部報告
 4、石川県中小企業青年中央会と全青協中部ブロック協議会との連携事業について

第4回（新年）理事会

日時：平成30年1月12日（金）16時～
 場所：金沢石亭
 参加者：本人出席18名、委任状出席11名、欠席2名
 議題：報告事項 1、全印工連平成29年度 第2回理事会の報告
 2、各委員会報告
 3、その他



平成29年度 全国青年印刷人 中部ブロック協議会 連携によるイノベーション創出を学ぶ

全国青年印刷協議会副議長 今川 弘敏

平成29年10月28日（土）ANAクラウンプラザホテル金沢にて石川UBA・全青協中部ブロック協議会が開催されました。全青協は中部各県から29名、石川UBAは石川県木材青壮年会、小松鉄工機器協同組合青年部等10団体17名が参加しました。

今回は平成28年岐阜で開催された「未知の創造」の進化版として、印刷業界だけでなく他の団体と連携してイノベーションの創出の仕方を学ぶ事業です。小林理事の司会のもと来賓として吉田理事長から「印刷業界はここ数年業態変革をテーマにそれぞれの会社が各地域、各事業領域で強みを見出しながら進化を遂げてきました。今回の連携によるイノベーションの創出はまた違った次元で新たな進化の仕方を示したのかと思います。1社ではできないことを、他社と協力してさらに事業を進化させていくことだと思います」とご挨拶をいただきました。

8チーム×6名に分かれプレストオリンピックとペーパータワーを実施してチーム内が温まったところで「未知の創造ワークショップ」を実施。他業種同士のワークショップなので色々な発見があり大変盛り上がりました。出てきたアイデアは以下のとおりです。

- ・チームH：「お寺」×「地下アイドル」で地域活性
- ・チームムササキ：「40代」×「婚活」でFAX等を使ったアナログ婚活
- ・チームそんたく：「地域の困りごと」×「まちの電気屋」で自分史作成
- ・チームみなみ：「ファイナリー」×「丸パイプ」でぶどうが良く育つ農園
- ・チームおきなわ：「オリンピック」×「インバウンド」×「捨てられないパッケージ」×「どら焼き」で東京オリジナルどら焼き
- ・チームばんちゃん&きんちゃん：「外装塗装」×「人材育成」×「オーダースーツ」×「AR」で次世代ワークスーツ
- ・チームよーこそ金沢：「40代」×「婚活」でFAX等を使ったアナログ婚活
- ・チームドラゴンズ：「子供」×「木」×「広場」で子供木育広場

最後は恵全青協議長から「今回は「印刷業界」×「他業種」の連携事業でした。昨年の印刷業界だけの連携創出事業と比べると視野の広がった色々なアイデアがでていたように感じました。またイノベーションを起こしていくには、改めてコミュニケーションの大切さを感じたのではないかと思います。いずれにしても本日の機会が、今後皆様のビジネスにお役立ちいただければ幸いです」とのご挨拶で締めくくりました。

最後になりますが、中部担当副議長として2年間務めさせていただきありがとうございました。関係各位には改めて御礼申し上げます。これで終わりかと思っていた折、ご縁が有りさらに後2年間指名副議長という立場に関わることに成りました。「頼まれごととは、試されごと」。業界発展の為、後2年間頑張ります！



全国印刷緑友会 「60周年記念大会」

日 時：2017年9月2日（土）15:00 場 所：東京ドームホテル/地下1F天空

9月2日（土）東京ドームホテルにて、「全国印刷緑友会60周年記念大会」が開催されました。全国から412名の同士が集まり、金沢青年印刷人クラブからは、8名の登録を致しました。

タイトルの一つである、「Ryock you!」（リョック・ユ）を合言葉に、7月から大会当日までフェイスブックにて各地区が動画リレーを行い、緑友フェスに相応しくお祭りムードを作り上げて行きました。

まず記念式典では、冒頭に日本火消し保存会による「木遣り」が披露され、式典ならではの厳粛さと「粋」な演出が模様されました。その後、開会宣言・国歌斉唱・綱領唱和・代表挨拶・祝辞・歴代会長記念品贈呈と続き、式典が終了。



引き続き記念講演に移り、シドニー五輪柔道銀メダリスト「篠原信一」氏による講演。

講演は、元々好きではなかった柔道・なかなか目標を見つけれない柔道の話で、終始和やかな雰囲気で行われました。ただ最後に当時振り返り、「目標を持って、周りの人達の協力をもらい自分の信念を貫く、これが金メダルを取った野村氏・井上氏と金メダルを取れなかった自分との違いなのだろう」と、世界で戦った方の言葉の重みを感じることが出来ました。講演終了後、本人を交えての集合写真は記念の一枚になりました。（とにかくデカイ。顔も…）

続いて懇親会へ。東京ドームホテルらしく「ビールの売り子」がテーブルを巡回。若干コンパニオンが年配のせいかな人気！アトラクションでは、芸人さんが登場。会場が最高潮に盛り上がりました。最後は、恒例の「靴が鳴る」。会場全体を使い参加者全員が手を繋ぎ輪になりました。その後、金沢メンバーで2次会へ。東京の夜を堪能しました。

緑友会 杉山会長の挨拶で、本年度のテーマ「D&K」=出会いと経験だそうだが、僕はここにY=友情を加えたい。もちろん全国から集う仲間達との友情もあるだろう。また、通常に行われる当クラブでの懇親会から生まれる友情も大切であるが、緑友会への参加を通じて同じ目

的・同じ時間を共有し、また一日を共にし、お互いを理解できる大切な時間が大きな友情に繋がるのだと思います。

毎年2月に行われるOBとの合同例会では、共に参加した緑友会のお話を良く聞きます。

やはり、普段と違った密度の濃さが思い出になるのだと思います。今後とも多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

最後になりますが、金沢青年印刷人クラブは現在51名が在籍しております。今年度は、全国で1番多い会員数です。しかし、今年度8名のご卒業生がいます。長らく50名の大台を維持してきましたが、次年度はこの維持するのは厳しいのかもしれない。

僕自身製本業界に身を置き、このクラブへの入会が無ければ出会えなかったであろう先輩達。ここまで、共に活動してきた同年代の人達とは、本当に仲良くさせて貰っています。

この思いを、一人でも多くの人達に伝えて行きたいと思います。

この業界の入り口の会としては、非常に心地の良い会だと思っています。もし、該当される方がいる様であれば、ご紹介いただきたいと思いますし、役員一同一層の拡大に向けて努力を致したいと思いますので今後とも宜しくお願い致します。

金沢青年印刷人クラブ 会長 示野憲一





スピーディーな情報共有で
業務効率化を支援

ドキュメントハンドリング・ソフトウェア

DocuWorks 8

国内販売累計500万ライセンス達成

富士ゼロックス株式会社 Xerox, Xeroxロゴ、およびFuji Xeroxロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。 www.fujixerox.co.jp/
 富士ゼロックス北陸株式会社 〒920-8501 石川県金沢市中橋町11番18号 TEL 076-260-0900 www.fujixerox.co.jp/hrx/



Giving Shape to Ideas

真のプロダクション印刷システム



- 色管理・表裏見当調整を自動化
- 用紙厚によらず毎分100枚*1の高速出力
- 受注幅を拡大する400g/m²の厚紙対応力
- サービスの多様化を推進するフィニッシャー群



AccurioPress
C6100/C6085

*1: C6100にて、A4ヨコ・52~400g/m²紙時
*写真はC6100にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG事業本部 営業統括部 中部営業部
 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F TEL.052-229-4624 <http://konicaminolta.jp/pr/odp>



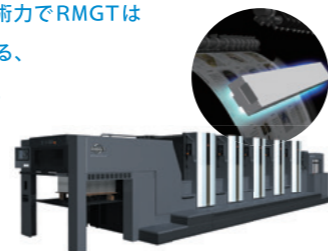
ともに、世界へ彩りを。

パイオニアとしての実力。

LED-UV
PRINTING SYSTEM

RMGTは2008年から、
LED-UV印刷の市場を牽引しています。

RMGTが2008年に世界で初めて発売した
LED-UV印刷システム。
省電力の画期的なUV印刷システムとして革新を起こし、
短納期・生産性向上・環境印刷によって、
オフセット印刷の世界を様変わりさせました。
発売から9年が経過した今、LED-UVの先駆者として
蓄積したノウハウと技術力でRMGTは
オフセット印刷に関わる、
お客様の様々な課題に
お応えしています。



RMGT 10
1050ST-5 (菊全判 5色印刷機)

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
 中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市天白区久方1-145-1 TEL 052-807-1671 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>



変化する市場ニーズを多彩な技術でナビゲートする

広がるパウダーレス 枚葉インキ



進化する高感度UVインキシリーズ



新たな歴史を刻む低温乾燥 オフ輪インキ



時代を彩る 高濃度新聞インキ



DICグラフィックス株式会社
<http://www.dic-graphics.co.jp/>

お問い合わせ
 DICグラフィックス株式会社 北陸営業所
 〒930-0057 富山県富山市上本町 3-16 上本町ビル 6F
 TEL 076-493-8015 FAX 076-493-8014

石川県印刷工業組合 第21回 ソフトボール大会

日 時：平成29年8月26日(土)
開会式：7時45分～
場 所：金沢市専光寺ソフトボール場

平成29年8月26日(土)天候が心配されながら当日を迎えましたが天気は晴天。

素晴らしい日となりました。

7つの会社で11チームと印刷組合混成チームが参加し合計12チームで開催されました。

吉田理事長の挨拶から始まり注意事項、始球式を行い2会場に分かれ白熱した試合が行われました。

試合は場外ホームランが飛び出す乱打戦。見ていても楽しい試合が多く、選手の皆さんも楽しく和気あいあいと楽しんでいました。

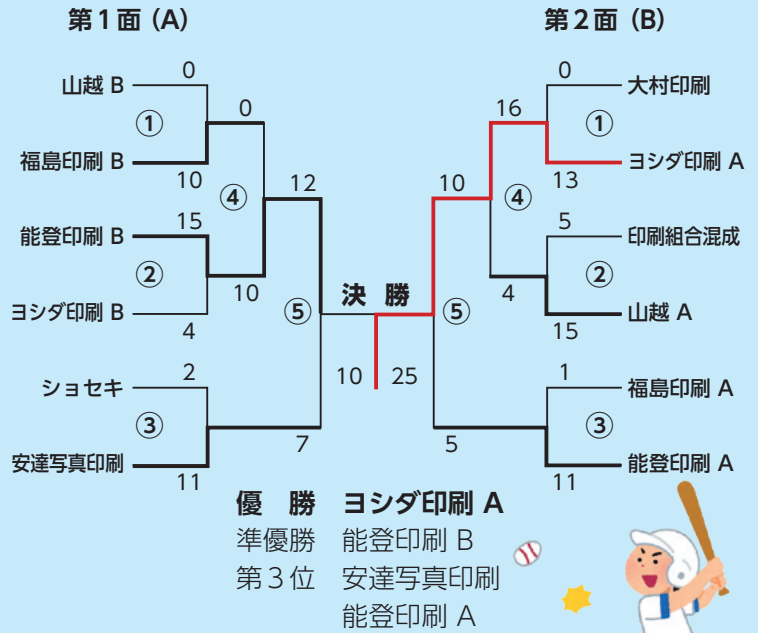
決勝戦はヨシダ印刷A VS 能登印刷B 白熱した試合が行われ25対10で決着がつきました。

今回初の印刷組合混成チーム(会社でチームが作れない組合員が誰でも参加出来るように作られたチーム)初めて会う組合員がゲームを通して親睦が深まるいい機会ができました。

来年も混成チームを作りますので是非参加してください。



対 戦 結 果



◎天候不順のために平成27年・28年と中止となった本大会は、今年は、良い天候に恵まれて以下の通りの結果となり、参加者はそれぞれに、試合を通じて交流を深めることができました。



平成28年度 共済キャンペーンにて 表彰されました

平成29年8月25日、表彰基準に基づき表彰と報奨をいただきました。



INFORMATION

会員短信

□代表者変更

金沢支部 (株)キャスト西野 代表取締役社長 西野秀夫
(平成29年9月20日)
(株)共栄 代表取締役 中井登喜子
(平成29年12月20日)
(株)ショセキ 代表取締役社長 浜中豊和
(平成30年1月15日)

■お悔み ～謹んでご冥福をお祈り申し上げます～

前田典千代様(金沢支部)
前田印刷(株)白山市旭丘2丁目16番地
取締役会長 平成29年9月18日ご逝去88歳
清水とよの様(能登支部)
(有)斉藤印刷出版 七尾市古府町れ部41-4
代表者の実母 平成29年10月26日ご逝去97歳
山本妙子様(小松支部)
(有)明喜堂印刷 小松市矢田野町ル75番地
代表者の義母(先代)平成30年1月12日ご逝去99歳

今後の予定

平成30年
4月17日(火) 富山工組との合同会議
富山県印刷会館
4月23日(月) 第6回理事会
石川県印刷会館
5月19日(土) 平成30年度通常総会
金沢ニューグランドホテル
6月8日(金) 第2回理事会(新任)
金沢石亭
6月15日(金) 中部地区印刷協議会 平成30年度上期会議(金沢会議)
金沢ニューグランドホテル
8月25日(土) 第22回ソフトボール大会
金沢専光寺ソフトボール場(予定)
9月1日(土) 第27回印刷の月記念ゴルフ大会
能登カントリークラブ